

平成20年10月 6日

国土交通省道路局長 様

西興部村長 高 畑 秀 美

今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

標記の件について、別紙のとおり提出いたしますので宜しくお取り計らい願います。

北海道は、国土面積の22%を占める広大な面積を有しており、都市間距離は全国の約2倍となっているなど広域分散型社会を形成している。このため、日常生活や経済を支える「人」と「物」の移動の大部分を自動車交通が担っており、全国と比べてもその依存度は非常に高く、道路の果たす役割は極めて重要である。

道路特定財源の問題や地方分権における国の出先機関の廃止統合問題などをめぐる議論が繰り広げられているが、「真に必要な道路とは、単に交通量が多い道路で、交通量の少ない地方の道路は不要だ」とする乱暴な議論はあってはならない。車に代わる公共交通機関が整備されていない地域においては、道路無くして生活が成り立たなくなっている。

このようなことから、道路行政にあっては、高規格幹線道路の整備による高速化はもちろん重要であるとともに、こうした地域においては、生活道路の整備・維持管理は住民の生命や財産を守る上で、必要不可欠である。

特に北海道のような広大な面積を有する地域は、道路網を整備するには多額の費用を要することから、十分な道路網が形成されていない状況である。このため、道路特定財源の一般財源化という、納税者の負担目的を変更することは許されるべきではなく、必要な財源を確保するべきである。

また、今後、人口の減少や高齢化、経済活動の集積、地方分権が一層進むことを描いたときに、このような地域の生活を支えるには、道路の交通の確保・高速化は益々重要になってくるものと考える。

○現状

当村は、国鉄の民営化により平成元年に国鉄長大路線である名寄本線(143km)が廃止された地域であり、人の移動、物流は全て道路に依存している地域である。特に生命に関わる高次医療機関への搬送を始め、通常の通院、通学その他、基幹産業の酪農における物流など、日常生活を支える生活幹線道路は生命線であり、当該道路の整備や維持管理における交通の確保は最も重要かつ不可欠であり、これに接続する高速ネットワークの整備も望まれるところである。

道路の現状であるが、国道は239号1路線と道道は遠軽雄武線及び中藻興部興部線の2路線が道路網として存在するのみである。また、当村は山間部に位置することから、周りが山に囲まれており、この道路網それぞれに峠を有しており、冬期間の交通障害や交通事故の発生、野生動物の道路への侵入も頻繁に見られる。

さらに、高齢化率も32%と高く、高齢者や子どもなどに配慮した、道路整備や維持管理が重要である。

一方で、国道239号沿線には「花街道」として、桜の木を植樹管理するなど、美しい景観づくりを推進している。

また、国道の情報ボックス設置が各路線で進められているが、当村を貫通する国道239号は未整備である。峠を抱える道路環境としては、情報ボックスの設置を望むと共に、民間利用による地域の活性化にも期待するところである。

○課題

- 1 道路網密度が低いため、災害に強い道路整備
- 2 線形改良などによる安全性の向上及び時間の短縮化
- 3 生活路線につながる、高速道路、高規格道路などの高速ネットワークの整備
- 4 北海道特有の冬期間における除排雪の徹底などによる安全性の確保
- 5 農業機械の大型化による道路の拡幅及び路盤の整備
- 6 野生動物(鹿・熊など)の衝突事故防止
- 7 R239号道路情報ボックスの整備
- 8 R239号花街道の管理強化

当村の道路に関する地域の現状と課題から、道路網密度を高めることが必要であるが、まずは道路網として形成されている国道239号1路線と道道2路線の交通を最大限確保されることが現実的で、線形改良の他、豪雨による法面や排水施設の充実強化、冬期間における除排雪の充実などによる災害に強い道路基盤整備が望まれる。また、安全で快適な交通を可能とするため、歩道の設置、情報ボックス整備による道路情報の提供、野生動物の事故防止が望まれる他、一方で、「花街道」として美しい景観づくりを推進する。

これらにより、高次医療機関への搬送を始め、通常の通院、通学その他、基幹産業の酪農における物流など、日常生活を支える生活幹線道路の交通基盤が安全性を備えて充実強化され、その先の高速ネットワークの整備と合わせて、村民の生活環境が充実する。

また、通学や通院の足となっているJR名寄線代替バスについても、沿線関係市町村との連携により運行の継続を図るとともに、村民の協力なども得ながら高齢者や障害者に配慮した村内の交通手段を確保する。

今後の道路行政についての意見・提案

様式

北海道西興部村

道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・水害等の災害に強い国土づくり	・市街地区の排水施設の整備	西興部市街地区の排水能力の向上により豪雨時における道路浸水及び家屋浸水等が減少し、通過車両の交通を確保できる。	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	・国道239号歩道橋及び歩道の設置(瀬戸牛橋北側歩道橋、西中通学路歩道延長) ・国道239号線形改良(天北峠、元中興部小学校付近) ・冬期間における歩道などの除排雪強化 ・交通事故防止(野生動物の衝突事故対策、ランドルストリップスの設置)	特に高齢者や子どもが安心して通行できる道路環境ができると共に、車を運転するドライバーにとっても安全な道路環境を提供することにより、交通事故の減少につながる。	
・良好な景観の形成	国道239号花街道づくり事業	道路ユーザーに良好な景観を提供すると共に、交流人口の拡大や適正な道路の維持管理につながる。	
・ICTによる社会資本の高度化	国道239号情報ボックスの整備	天北峠を中心にリアルタイムな道路情報を享受でき、道路管理の強化につながる。また、民間等への貸し出しによる、地域の活性化が期待される。	
・計画的・効率的な維持管理や更新の推進	道路橋の長寿命化修繕計画の策定、実施	橋梁を長寿命化することにより、単年度当たりのコストの削減につながる。	